

14/01/2020 Tue

ようやく朝から日差しが降り注いでくれました。それでも朝はまだ寒いです。NZは1日に四季があると言われるほど、1日の中での寒暖差が大きいことで知られています。真夏だからといって、日本のように熱帯夜があって、朝から暑いというようなことはありません。都市化が進むオークランドは、近年街の気温も上昇傾向にあります。ここウェリントンは、風も強いこともあって、真夏といえども日が差さなければ肌寒く感じますし、おそらくエアコンがある家はほとんどないと思います。

日本の夏を想像してしまう私たちには、とても夏とは思えない気温ですが、それでも晴れ間が出てくればこちらの人たちには暑い夏であることには変わりないのでしょう。タンクトップに短パン姿の人もいて驚かされます。

ウェリントン駅、キャンベルはこの建物内にあります



キャンベルの窓からは電車のホームが一望できます



午前中のクラスは34人の生徒を17人ずつ2グループに分けておこなわれています。クラス分けは、事前に日本で実施したオンラインテストの結果をもとに、キャンベルが決めています。

Room 15 Ms Martina Danuser先生のクラス



Room 15 Mr David Adkins先生のクラス

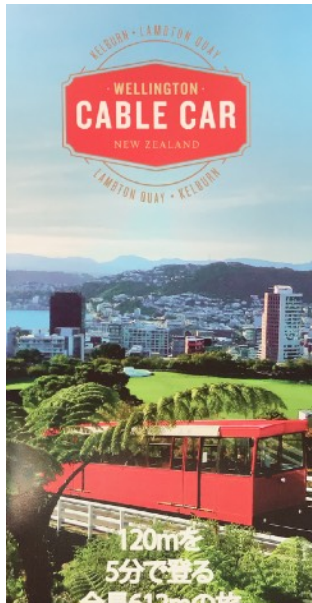


午後のアクティビティに出発、先生のすぐそばが英会話特等席ですよ



本日の午後のアクティビティのタイトルは "Walk to Cable Car"。ケーブルカーはウェリントン観光の目玉の一つでもあり、多くの観光客で賑わう場所です。この日は大型客船がウェリントン港に寄港していることもあって、チケット売り場に行列ができていましたが、ケーブルカーは10分おきに出発し、頂上までの乗車時間も5分程度なので、それほど待たされることもなく乗車できました。高低差120メートルを一気に登って行くのですが、トンネルはイルミネーションで彩られ、そこを抜けると一気に街並みや海が見下ろせるパノラマが広がり、演出も上手です。

各国語のパフレットがありました。いっぺんに50人ぐらいは乗車できます。



まずは展望台で景色を堪能します。昨日までの天気が嘘のように晴れ渡り、この日は風も強くなく、絶好のケーブルカー日和でしたね。皆さんラッキーです！展望台の横にはケーブルカー博物館もあり、自由に見学できます。かつての機械室をそのまま展示施設にしており、昔の車両や、ケーブルの巻き上げ装置がそのまま展示されていました。このあと、歩きながら街まで降りて行くのですが、途中に、プラネタリウムを備えた天文台、植物園、ゾーランドシアという野生動物保護区があり、いくつかを訪れますが、全て入場無料なのに驚かされます。昨日訪れた国立博物館のTe Papaを始め、NZの文化施設は入場無料のものがとても多いです。有料であっても、子供や学生は格安あるいは無料というものも多く、羨ましくなります。

展望台からの景色



15分程度展望台付近で自由時間を取り、すぐ下のSpace Placeと呼ばれる天文台に移動しました。ここにはプラネタリウムがあり、40分ほどのプログラムを全員で見せてもらいました。前半は生命の起源をテーマに、地球外に生命が存在する可能性についての内容で、宇宙の成り立ちや、太陽系、銀河に関する説明まで、デジタル映像を駆使してかなりわかりやすかったと思います。後半はNZで見ることができる星の天体ショーでした。もちろん全ての説明が英語でしたので、生徒たちは理解できなかったところもあるかもしれませんが、綺麗な映像だけでも十分に楽しめる内容だったと思います。

Space Placeの次は植物園に移動しました。イギリス文化圏ですから、やはり綺麗なバラ園があります。池にカモの親子がいて、それを眺めて楽しんだり、ベンチでゆっくり休んだり、早速見つけたアイスクリーム屋に駆け込んだり（こういうことは目ざといですね）、それぞれ思い思いの過ごし方をしていました。NZでは公園といえば芝生があたり前なのですが、日本の生徒たちにはそれが珍しく、そして嬉しいようで、芝生を踏みしめる感触を楽しんでいる様子も微笑ましかったです。現地校に行けば広い天然芝のグラウンドがありますから楽しみにしていきましょう。



↑薔薇に囲まれ



植物園の入り口で→

今日はずっと晴天のもとで外にいましたから、かなり陽に焼けていると思います。気温が低くても、たとえ日差しが弱くても、NZは日本より紫外線が強いですから（東京の7倍とも言われています）、日焼け対策をしっかりすると、自分で感じている以上に体は疲れているはずですから、しっかり休みも取りましょうね。さすがに若いだけあって、時差ボケは最初からないみたいですが、本番はまだまだこれからですから、現地校スタートにベストな体調で臨めるようにしましょうね。

明日も元気に！